



夕立の雨うち降れば 春日野の 尾花の末(うれ)の 白露思ほゆ

8月万葉集 巻16—3819 小鯛王(こだいのおほきみ)
夕立が降ると涼しくていいねえ。でも、あんなに激しい雨に
打たれて、春日野の尾花は大丈夫だろうか。

露を含んで頭を垂れているかしら。それともかえって生き生
きとしているかもしれないなあ



被災地に想いを馳せて！

暦の上では立秋を過ぎましたが、まだまだうだるような暑さが
続いています。子どもたちにとって、学校・園の生活から家庭生
活に戻った夏休みもあつという間に日々が過ぎ、残すところ半分
となりました。その間、子どもたちは、家庭におけるゆったりとし
た家族との会話や触れ合い、そして旅行など、普段、経験できな
い様々なことからを体験できたのではないかと思います。7月号
でも書きましたが、学校・園生活では体験できない自然体験活
動を中心とした体験活動が子どもたち

を大きく成長させます。自然体験が多い
子どもは道徳観や正義感が強い子ども
が多い、あるいは、自然に触れる体験を
したあとは、勉強に対してやる気が出る
子どもが多くなるなどの報告があると書
きました。夏休みは早、後半に入りますが、自然体験だけ
ではない様々な体験活動も今からでも間に合いますので、どうか
1つでも2つでも経験してほしいと思っています。

ところで、7月28日(火)の夕刻に起こった熊本地震でお亡く
なりになった人たちにご冥福をお祈りするとともに、避難生活を
強いられている多くの人々に心からお見舞いを申し上げます。

被災地の一日も早い復興をお祈り申
上げます。また、私たちに何ができるのか
と心を痛めていますし、心が折れるほどの
ショックを受けました。と言うのも、10年前
に私が真美ヶ丘中学校の校長だったとき
2016年4月14日、16日に熊本地震が
起こり、139人の尊い命が奪われたこと、
熊本城をはじめ、多くの家屋や施設が倒
壊した記憶がよみがえってきたこと、そのこととともに、その当時
の生徒会の呼びかけで、被災者支援の募金と熊本地震で最も
被害が大きかった益城町の益城・木山両中学校へ文房具類の
支援をしたことが脳裏をかすめたことによります。

10年が経ち、被災されたそれぞれの地域も復興が進み、熊
本城も再興され、ようやく人々の日常の生活が戻った矢先に、
再び震度7の地震が起こるとは誰ひとり想像できなかったこと
かと思っています。地震発生から2週間が経ち、国をはじめ、自治体
やボランティアの被災地への支援は進みつつありますが、酷暑
日や猛暑日が続く過酷な状況の中、避難所等での関連死や2
次災害が起こらないか心配の種は尽きません。

被災地に想いを馳せて、これから、募金等を含め、私たちに
何ができるのかを改めて検討していこうと思いますし、被災地の
一日も早い復興・復旧を祈らずにはおれません。



教育委員会関係団体の取組

令和8年度第1回こども会議を開催！

7月15日(水)午後2時から、今回は初めての取組として、広陵
町議会の議場をお借りして、小中学校の児童会・生徒会等の学
校代表の子どもたちによる、今年度第1回目のこども会議を開催
しました。司会進行は、議長として真美ヶ丘中学校が担当してく
れました。また、議会事務局の配慮で、子どもたち一人一人の氏
名が印刷された立て札(氏名標)も作っていただき、子どもたち
にとっては、初めての議会の疑似体験となりました。

私が毎年、こども会議でテ
ーマにしている「『笑顔あふ
れる学校、笑顔あふれる広
陵町』にするために」の取組
で、今回は、各小学校で、学
校内、校区内、広陵町内に目
を向けて、気になる課題を見
つけ、その課題について、各
小学校の代表が議員役とな
って質問し、各中学校の代表が町の理事者役となって、その質問
に答えるという形式を取りました。

私ははじめのあいさつで、今年は3年目となるこども会議で、
バイキング給食が実現できたことや体育館のエアコンが来年度
に設置予定となるなど皆さんの先輩が町に要望を出したことで、
実現できたことがあります。今回はめったに入ることができない
議場での会議で、議会事務局の皆さんに感謝の気持ちを伝えて
ほしい。また、小学生が議員役となって提案や質問をし、中学生
は理事者役となってその提案や質問に答えてほしい。そして、広
陵町や教育委員会に新たに実現してもらえることを要望してほし
いと話しました。その後、指導主事の先生から、こども会議の進め
方について説明があり、議員席のマイクを使っての発言の仕方
や提案・質問する方法を、そして答弁する方も緊張せずしっかり
発言してほしいという話をさせていただきました。

下に各小学校の発表内容と中学生の答弁を示します。

「笑顔あふれる学校、笑顔あふれる広陵町」にするために

東小学校

- ①残っている和式トイレの洋
式化について
- ②あいさつが当たり前にな
るようになるための取組に
ついて
- ③地域の人たちと共に作り
上げるイベントについて

中学生の答弁

- ①町に清掃をお願いすることや先生方と一緒に清掃するのもよい。
- ②あいさつパトロールや巡回、3日に1回のあいさつ運動を展開
してはどうか。
- ③地域の人たちとゴミ拾いなどの清掃活動をしてはどうか。

西小学校

- ①時計台公園のポイ捨てのゴミ問題について

中学生の答弁

- ①ゴミ袋持参の呼びかけやゴミ箱設置とゴミ箱に



アンケートを付けてゴミを捨てたくなるような工夫をする。

北小学校

- ①笑顔があふれ、トラブルを減らすためにもあいさつが大切、そのあいさつ運動について
- ②学校をきれいにする取組について
- ③教室に虫が入ってこないようにする網戸設置要望とクビアカツヤカミキリからサクラを守る取組について

中学生の答弁

- ①上級生が下級生を引っ張るたてわり活動でのあいさつ運動をしてはどうか。
- ②クリーン！グランプリみたいな競争心を高めた清掃活動をする。
- ③スプレーの準備、クビアカツヤカミキリの駆除は町に依頼、網戸設置も町に依頼する。

真美ヶ丘第一小学校

- ①世界とつながる真美プロジェクトで昨年提案したナスの皮で染める靴下の作成と世界への発信について

中学生の答弁

- ①町のホームページに載せて協力を求めたり、靴下工場からくつ下を譲ってもらうお願いをしたりする。

真美ヶ丘第二小学校

- ①スマイルアップ運動（あいさつ運動）であいさつの大切さを伝えるポスターや動画の作成について
- ②SDGs週間で給食の残食を減らす取組について

中学生の答弁

- ①ポスターや動画であいさつ運動を知らせることはとてもいいし、よくできたクラスには症状やメダル授与も良策。
- ②残食を減らすための競争心を高める取組やポスターや放送を通じた訴えを強化する。

すべての小学校からの提案や質問、中学生からの答弁が終わり、最後に議長からは、「今日、ここで話し合った内容をそれぞれの学校に持ち帰ってもらって、さらなる取組を進めてください。12月に行う第2回のこども会議では、各校から対策を出し合い、「笑顔あふれる学校・笑顔あふれる広陵町」をさらに進めていきましょう。」という話がありました。

最後に、私の講評として、「小学生の皆さんの提案や質問を中学生の皆さんはしっかり考えて答えてくれたことにまずは感謝します。」と伝え、各学校の取組についてのコメントを簡単に話させてもらいました。そして、笑顔あふれる学校にするための提案については、「中学生の皆さんからヒントになることを教えてもらったので、そのことを学校に持ち帰ってさらに良くなるよう取組を進めてほしい。」と話し、最後に「この議場での会議はとてもいい経験だったと思う。これからも広陵町を良くする提案をどんどん出してほしい。」と話して講評を終えました。

「親子で一緒に料理をしよう！」

7月29日(水)の9時半から、真美ヶ丘第一小学校の家庭科室において、「親子で一緒に料理をしよう」というタイトルで、親子料理教室が3年連続で開催されました。子どもたちが食に関心をもち、食に関わる人々の活動を知り、正しい知識、調理に関する基本動作を学び、日常の食生活に応用するきっかけとする。給食のメニューを調理することで親子ともに給食に興味をもつ。

などの目的で開催されました。

メニューは、とうもろこしごはん・鶏肉の塩こうじ炒め・きゅうりのごま昆布和え・夏野菜みそしる・いちごムースでした。

調理前には、エプロン、三角巾、マスクなどの身支度を整え、早く作りたいなど意気込んでおられました。栄養教諭の先生がメニューの説明とデモンストレーションをされ、保護者だけでなく子どもたちもメモを取りながら熱心に聞いておられました。それぞれの調理の説明後、6グループに分かれての調理が始まりました。親子で役割分担をして、楽しく会話しながら和気あいあいとした雰囲気での調理でした。とうもろこしを立てて包丁でそいでいく子、ジップロックに入っている鶏肉に塩こうじを入れ、揉み込んでいる子、きゅうりやにんじんをうすく切っている子など料理に取り組んでいるのはほとんどが子どもたちでした。保護者の方々は、包丁を持っている子どもの手に手を添えておられたり、調味料を計っている様子を見守っておられたりされていました。

先生方の適切なアドバイスにより食欲をそそるとてもおいしそうな料理が次々と出来上がりました。最後にそれぞれのグループで作った料理をみんなで試食しました。

どのグループも「おいしいね。」と笑顔で話しながら食べておられました。特に古都華のいちごムースは最高だったようです。一人一人満面の笑みを浮かべて本当においしそうに試食されていました。

学校・園から

広陵西小学校

ナラ・シェイクアウト訓練

7月10日に、「ナラ・シェイクアウト」に参加し、地震発生を想定した安全行動訓練を行いました。本来は7月9日に実施予定でしたが、水泳学習との日程が重なったため、この日の実施となりました。訓練放送が流れると、子どもたちはその場で姿勢を低くし、頭を守り、揺れがおさまるまで安全を確保する行動を取りました。「まず低く」「頭を守り」「動かない」という基本行動を、一人一人が落ち着いて実践することができました。

災害は、学校だけでなく、家庭や外出先で遭遇することも考えられます。だからこそ、場所に応じて自分で安全な行動がとれるよう判断する力を身に付けることが大切です。また、教職員も職員室で同じ訓練を実施しました。児童の安全を守るためには、教職員一人一人が適切な初動対応を身に付けておくことも大切です。子どもたちとともに、防災意識を高めるとてもよい機会となりました。これからも、自分の命を守る行動について考え、実践できる力を育てていきます。

